３学年理科ガイダンスシラバス　教科担当　平谷　範士・木村　景子

１．理科を学ぶねらい

学習指導要領より中学理科の目標として、次の３点があります。
①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
②観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。
③自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

２．学習方法

〇授業では、目的をもって主体的に学習することが重要です。授業では、考えたり、発言したり、板書などをしっかりと記録することで学力が身についていきます。
〇家庭学習では、その日の授業の復習を重点的に行いましょう。早めに観察・実験の考察や問題などの課題をすることも大切です。授業プリント、問題シート、ワークなどを活用しましょう。特に重要語句を理解する・覚えることは非常に大切です。
〇反復学習を大切にして下さい。間違った問題を繰り返し解くようにするとよいです。

３．持ち物、忘れものなどについて

〇基本的な持ち物は、教科書と理科便覧（・ノート・Chromebook）です。
〇プリントやレポートなどの課題を期限内に提出します。
〇教室移動もありますので、忘れものがないようにして下さい。

４．学習の評価内容と評価方法

（１）観点別評価は次の内容を重点的にみていきます。
〇「知識・技能」：プリント、レポート、小テスト、定期考査等
〇「思考・判断・表現」：プリント、レポート、小テスト、定期考査等
〇「主体的に学習に取り組む態度」：プリント、レポート、授業・Free!小テスト・問題集への取り組み具合
（２）評定は上記の内容を総合的にみていきます。

５．先生からのアドバイス

〇計画的に問題集に取り組んで、一二年の復習をしてください。
問題集に限らず、様々なものに繰り返し取り組むことが重要になります。
〇判らないところは「質問する」ことがとても大切です。そして、「教える」ことは「解る」よりより深い理解が得られます。遠慮無く質問し、喜んで教えよう。
〇繰り返すことでできることが増え、より得意になってきます。とりあえず始めて、何度も繰り返し、得意な部分を増やしていきましょう。

６．理科　年間学習計画
〔担当：平谷・木村〕

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
１ ２ ３	４ ５ ６ ７ ９ 10 11 12 １ ２	１化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・酸、アルカリとイオン ・化学変化と電池 ３運動とエネルギー ・物体の運動 ・力のはたらき方 ・エネルギーと仕事 〇入試対策	〇化学変化とイオン ・水溶液の電気伝導性や中和反応について理解する ・上記の事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。 〇運動とエネルギー ・物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解する。 ・日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養う。	「知識・理解」 ①プリント、レポートの内容 ②小テスト ③定期考査 など 「思考・判断・表現」 ①プリント、レポートの内容 ②小テスト ③定期考査 など 「主体的に学習に取り組む態度」 ①プリント、レポートの内容 ② Free!小テスト・・問題集への取り組み具合 など
１ ２ ３	４ ５ ６ ７ ９ 10 11 12 １ ２	２生命の連続性 ・生物の成長と生殖 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の多様性と進化 ４地球と宇宙 ・地球の運動と天体の動き ・月と金星の見え方 ・宇宙の広がり ５地球と私たちの未来のために ・自然のなかの生物 ・自然環境の調査と保全 ・科学技術と人間 ・自然災害と地域のかかわりを学ぶ ・持続可能な社会をつくるために 〇入試対策	〇生命の連続性 ・生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解する。 ・生命の連続性について認識を深める。 〇地球と宇宙 ・地球の運動について考察し、太陽や惑星の特徴及び月の運動の見え方を理解する。 ・太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。 〇地球と私たちの未来のために ・エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。	

※４月～９月に単元１、２を、１０月～３月に単元３、４、５をそれぞれ平行して進める。